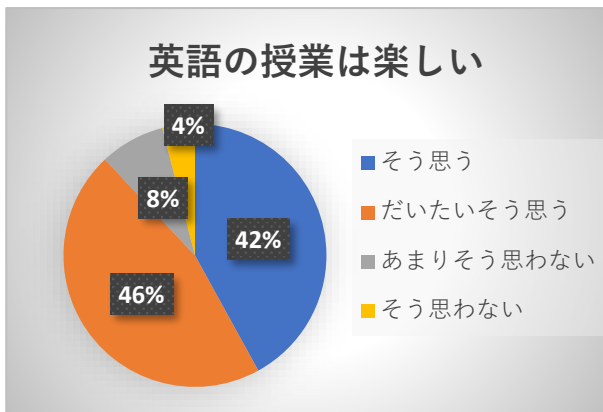


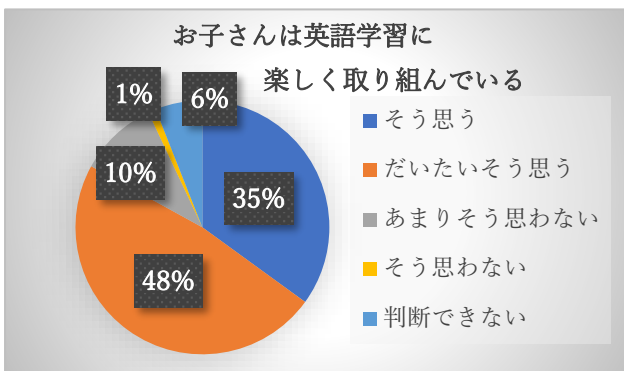
### 1 「自己評価」 について



令和3年度に高学年に実施したアンケートでは、「英語の授業が楽しい」と感じている児童が、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて88%となっていて、9割近い児童が楽しいと感じています。英語の楽しさを感じる場面としては、「自分の表現したことが相手に通じた時」「ELTの先生が話していることが分かった時」「担任やELTの先生にGOOD!と誉められた時」などに楽しいと感じている

様子が伺えます。一方で12%の児童は「楽しい」と思えていません。その理由としては、「難しくて分からない」「発声したり発音したりするのが恥ずかしい」「読んだり書いたりすることがうまくできない」などの意識が伺えます。個々に得意不得意はありますが、友だちとコミュニケーションを取りながら一緒に学ぶことで、「分かる」「できる」楽しさを味わえることも目指していきます。

### 2 「保護者評価」 について



令和3年度に保護者に実施したアンケートでは、学校で「お子さんが英語学習に楽しく取り組んでいる」と感じている保護者が「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて83%となっていて、8割以上の保護者が自分のお子さんが楽しく英語を学習していると感じています。英語の歌を口ずさんでいたり、テレビ等から聞こえる英語に関心を持つ姿からそのようにとらえている様子が伺

えます。一方で、楽しく学習していると思っていなかったり、楽しく学習しているかどうか判断できないと感じている保護者が17%となっています。家庭で児童が話す様子だけでなく、英語参観週間で実際に英語の授業の様子を見ていただき、保護者の方にも英語学習の様子を知っていただくことを大切に考えていますが、コロナ感染予防のため、令和3年度は英語参観週間が実施できませんでした。学級通信や学校だよりなどでも、児童の学習の様子を保護者の方にお伝えできるよう努めていきます。

### 3 「関係者評価」 について

「すわらじの会」(民生児童委員他地域住民が参加する会)や年に一度の町英語教育公開授業で参観して頂いた後、懇談会や研究会で英語の授業についても感想を頂いています。「子どもたちが英語活動を楽しんでいる」「ELTの英語をよく聴き取る『耳』が育っている」「低学年から英語に親しむ姿が良い」等の感想を頂いています。

今後も「児童」「保護者」「関係者」評価を日々の授業の指導に生かすように取り組んで行きたいと思えます。